



野間笠松センター前に仮装で集合！



Trick or Treat!!



ハロウィンイベント

令和3年10月30日 開催

昆陽里小学校地区自治協議会

コロナ禍でも地域を活性化！ 地域ぐるみで笑顔届けたい！

ーハロウィンを始めたきっかけを教えてくださいー

昆陽里小学校地区自治協議会は、令和2年度より、前年度に地域の皆様で策定した「地域ビジョン」に基づく活動を開始しました。しかしながら、同時期に新型コロナウイルス感染症が広がり、今まで地域の子もたちのために行ってきたイベントや行事の中止を余儀なくされました。学校行事も中止となるなか、地域として何かできることがないかと考え、「スポーツクラブこやの里」が実施していたハロウィンイベントを自治協議会で実施できないかと、学校や地域住民と相談しました。その結果、密を避けるために分散し、コロナ対策を講じながら校区内にある4つの共同利用施設等を巡るイベントを実施することにしました。



昆陽里小学校地区自治協議会
会長 矢野 天正 さん(写真左)



家族で仮装中♪

寺本東センター
での受付の様子



きょうだいで
参加中



地域の子どもたちに 楽しいイベントを！

ーハロウィン始めて苦労された点や良かった点を教えてくださいー

コロナ禍において、密を避け実施しなければならないことに苦労しました。参加者の分散、検温・アルコール消毒の徹底、イベント終了後すぐに帰宅していただくなど、多くの自治会員の協力のもと感染対策を徹底しました。また、学校や地域の行事が中止せざるを得ない状況のなか、子どもたちの元気がないことが気になっていましたので、参加者により楽しんでもらえるイベントにすることに力を入れました。

当日、久しぶりのイベントということで、みなさん明るく元気な表情で参加されており、やってよかったと思っています。また、多くのみなさんがルールを守ってくださったこと、参加者から感謝のお声を多数いただいたことが、大変うれしかったです。

ー今後の活動について教えてくださいー

新型コロナウイルスが収束した後は、分散したイベント開催ではなく、参加者全員が学校に集合し、各会場にて輪投げやビンゴ大会などのイベントを行いながら巡る、昆陽里の一大イベントにしたいと考えています。みなさんが盛り上がりいただけるハロウィンイベントを末永く続けたいと思います。



西鈴原自治会ホームページ

インターネットを活用した情報発信

市内各地

コロナ禍でも情報を伝えたい！

-インターネットを活用した情報発信にチャレンジ！-

新型コロナウイルス感染症の影響により、自治会員同士の交流の機会が減少している中、地域活動におけるデジタル化の動きが加速化しつつあります。総務省の『地域コミュニティに関する研究会』で取り上げられるなど、全国的にも注目されています。

-市内での事例-

伊丹市内でも、自治会内の情報共有や交流を促進するため、インターネットを活用した情報発信（インターネット広報）に挑戦する自治会が増えつつあります。

ホームページやSNSなどのインターネット広報は、「広報誌よりも配布の手間がかからない」「即時に情報を伝えられる」「安価で情報を発信できる」「情報を保管できる」「情報を検索しやすい」といったメリットがあるとされています。

これまでの紙の広報誌に加え、インターネット広報を活用することにより、自治会員への情報がよりタイムリーに伝わり、とともに、非自治会員に自治会活動を知ってもらうことにもつながるのではないのでしょうか。



西御願塚自治会ホームページ



アルビス伊丹千僧自治会 twitter

-インターネット広報を実施している自治会の声-

実際にインターネット広報を導入された自治会の方々へインタビューしたところ、以下のようなお話をいただきました。導入を検討される際のご参考にしてください。

やってみてよかったこと

- 発信情報を見た若い住民と新たに繋がれた。
- これまで自治会活動にあまり携わっていなかった住民と協力して立ち上げたことにより、日常の自治会運営にも携わってくれるようになった。
- 「自治会を身近に感じることができた」との声が住民から届いた。
- イベントの申込書をホームページからダウンロードできるようにしたことにより、利便性が高まった。

これから導入する自治会へのアドバイス

- デジタルを活用していろいろな情報を発信することにより、住民に関心を持っていただけたと思います。情報発信を増やしていこうと考えています。
- 会員でない人や引っ越してきた住民に対して、自治会を身近に感じてもらえる機会になります。まずは身近な情報から、発信を始めてみては。
- 小さなことでもよいので、できるだけ小まめに情報を更新することが大切だと思います。
- 閲覧が困難な高齢者へのサポートや支援が必要。
- 作成したページを多くの住民に知ってもらう取組みが大切だと思います。



堀池自治会 facebook



北野自治会 LINE

-各地域のページを閲覧したい場合は-

市ホームページにて、市内自治会のホームページ等が紹介されています。皆さまがお住まいの地域のページもあるかもしれませんので、ぜひご覧ください。



自治会連合会からの報告

自治会研修会を開催しました（令和3年10月30日）



今年度の自治会研修会は、地域活性化・まちづくりコンサルタントの水津陽子氏を迎え、「加入率低下、コロナ禍の運営…自治会のお悩みを解決しよう」と題し講演いただきました。年々加入率が低下している伊丹市においても大きな課題です。

今回の講演を聞いて特に参考になったのは、加入のお願いに行く時の話です。「加入するメリットは？」と問われることがよくありますが、その時ただ漠然と「いざという時に助け合えますよ」などと答えるのではなく、具体的に自治会独自の取り組みを伝えることが大切であるということでした。

（総務委員長 市川 伊久雄）

自治会管外研修会を開催しました（令和3年11月18日～19日）



昨年度は新型コロナウイルスの影響で中止した管外研修会ですが、今年度はコロナ対策を万全に施し、徳島県上勝町を訪れました。

上勝町ではお年寄りの生きがいに大きく貢献した「彩りビジネス」について説明を聞き、このビジネスを立ち上げた担当者の活動内容に感銘を受けました。

また上勝町ではゼロ・ウェイスト事業を行っており、その視察を行いました。住民の皆様がごみを持ち込む収集場では資源ごみを細かく分類し、それらを売却した場合の収入額と、焼却など処理に掛かる費用を「見える化」し、住民の意識づけを行っていました。

（総務委員長 市川 伊久雄）

伊丹市自治会連合会のホームページを開設しました

このたび、伊丹市自治会連合会のホームページを開設しました。主な内容は次のとおりです。

- 市内自治会の活動事例
- 活動に役立つマニュアル
- 自治会連合会の広報物

今後、自治会活動に役立つ情報を発信していきますので、ぜひご活用ください。（広報委員長 長澤 孝）

ホームページのURL：

<https://itamiziren.jimdofree.com/>

二次元コード：



自治会活動のヒント集



リモートによるパティシエ体験【稲野自治会子供会】

稲野自治会では、毎年、地域の子どもたちにも楽しんでもらえるイベントとして、「パティシエ体験」を実施しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、各ご家庭で楽しんでもらえるよう、LINEオープンチャットを活用して、レクチャー動画と子どもたちが作った作品をアップロードするといった新しい方法で実施しました。



兵庫県の条例による安全・安心の
兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）
自然災害による住宅や家財の被害に対し、
再建・補修の費用を給付する基金制度です。
我が家の安全・安心のためにぜひご加入ください。

区分	負担金	被害認定	給付金
住宅再建共済	年額5,000円	半壊以上	最高600万円
	年額500円追加	準半壊※2	最高25万円
家財再建共済※1	年額1,500円	床上浸水以上	最高50万円

※1 住宅再建共済と家財共済の両方にご加入の場合、最大500万円負担金が割引きになります。
※2 損害割合10%以上20%未満

お問い合わせ先 **フェニックス共済** 検索
(公財)兵庫県住宅再建共済基金 ☎078(362)9400 (平日9時～17時)
阪神北県民局フェニックス共済担当 ☎0797(83)3122 (平日9時～17時)

定額負担、
定額給付で安心！
フェニックス
共済
ちゃん

兵庫県連合自治会大会受賞者紹介

第52回兵庫県連合自治会大会（令和3年11月25日開催、会場：丹波篠山市）にて、兵庫県自治賞4名、県連会長表彰10名が表彰されました。受賞者の皆様おめでとうございます。※敬称略、（ ）はブロック名



受賞者と三役の皆様

【兵庫県自治賞】（自治会長歴通算10年以上）
 常澤 辰晃 第二美鈴自治会（摂陽）
 濱野 克英 柏木町自治会（南）
 安永 繁美 東安堂寺自治会（笹原）
 阪本 哲也 東桑津自治会（神津）

【県連会長表彰】（自治会長歴通算5年以上）
 山本 正幸 東有岡自治会（有岡）
 奥田 善信 コーブ野村第1自治会（有岡）
 福島 助三 昆陽道塚（摂陽）
 岡田 誠一 南野自治会（笹原）
 原田 實 阪急住宅自治会（笹原）
 松本 三郎 森本高層自治会（神津）
 瀧内 文也 西野自治会（桜台）
 西村 昭人 小松原自治会（池尻）
 岩井 文雄 池尻南自治会（花里）
 寺尾 章子 鴻池公社住宅自治会（鴻池）

今年度を振り返って 『コミュニケーションの大切さ！』

自治会長はじめ役員の皆様、自治会員の皆様には、平素から地域活動にご理解・ご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。

コロナが日本に上陸して2年が経過し、今年度もコロナが変異しながら4波から6波の到来を受け、三密回避・デジタル化・3回目の予防接種等々で、戦いに明け暮れた1年でもありました。しかし反面、このコロナ規制で、これまで以上に気づかされたことが、『コミュニケーションの大切さ！』でありました。

人と人との触れ合いが職場・地域にも心の安らぎとして大きく作用していることが指摘されています。

当連合会においても自治会研修会「加入率低下、コロナ禍の運営、自治会のお悩みを解決しよう！セミナー」の開催や管外研修会「ゼロウエスト（ごみを出さない分別）」徳島県上勝町への視察を実施するなど、共に歩む機会を設けました。今後も逆風にもめげず前進してまいりたいと考えております。引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



伊丹市自治会連合会
会長 佐々木 憲治
(伊丹ブロック
光明町自治会長)

“各地域の活動”を市HP（ホームページ）や市Facebookに掲載しています。

伊丹市の地域活動を広報するため、市のHP及び市のFacebookに各地域の活動を掲載しています。

掲載を希望される方は、まちづくり推進課（市役所1階、TEL：780-3533）まで情報のご提供をお願いします。

※掲載対象は、自治会・自治協議会等の地域団体の活動や広報誌となっております。個人の活動はご遠慮下さい。

HP（ホームページ）へのアクセスは

伊丹 各地域の活動

検索

Facebookへのアクセスは

伊丹 Facebook

検索



【写真上】
HP（ホームページ）での掲載

【写真下】 Facebookでの掲載

